

## 第12回 顎口腔機能セミナー 開催要項

【主催】 日本顎口腔機能学会

【主管】 校長 増田 裕次（日本顎口腔機能学会・会長，松本歯科大学）

セミナー企画委員長 皆木 省吾

（顎口腔機能セミナー企画担当理事，岡山大学）

【会期】 令和4年

10月7日（金）～9日（日） （2泊3日）

開始日時：10月7日（金）14：00

終了日時：10月9日（日）11：40

【テーマ】 若手研究者の台頭

【会場】 サントピア岡山総社

〒719-1142 岡山県総社市秦 1215

TEL：0866（95）8811 URL：<http://suntopia-okayama-soja.com/>

【参加費】 ¥30,000

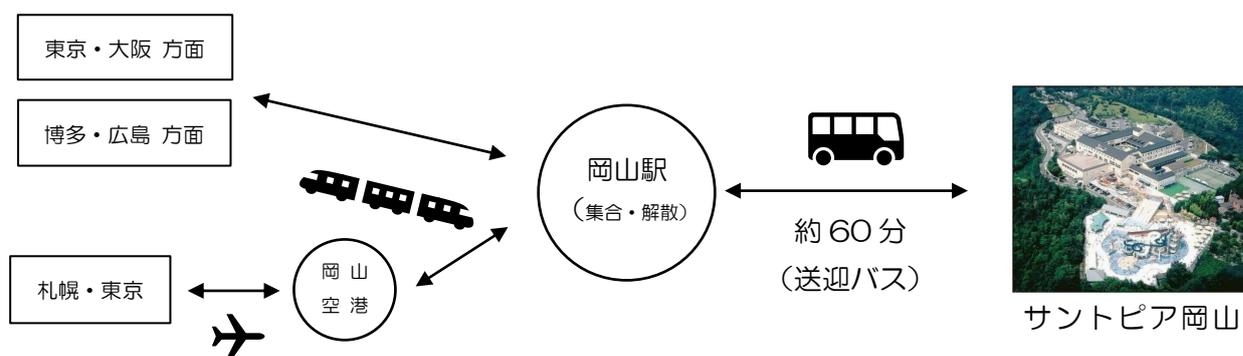
【連絡先】 第12回 顎口腔機能セミナー企画委員会

企画担当幹事 萬田 陽介

Mail：[y\\_manda@s.okayama-u.ac.jp](mailto:y_manda@s.okayama-u.ac.jp)

【交通】 岡山駅集合 7日（金）12：30

岡山駅解散 9日（日）13：00頃



【申し込み】 HP に掲載の申し込みフォームより，メールにてご提出ください。

※コロナ関連状況に特段の変化がなければ，全員事前に各自の居住地にてPCR検査を行って頂いた上で現地開催予定です。居住地での直前PCRの結果“陽性”と判明した場合にはセミナーに参加はできません。

（陽性を証明する書類を提出頂ければ参加費は免除いたします）

※コロナ関連状況によってはWeb開催となる可能性がゼロではありません。その際には参加費は無料となる予定です。ただし，交通費のキャンセル料は補償することができませんのであらかじめご了承ください。

## 講義

- ① サンプルサイズの決定法（仮題） 7日（金）15：15～  
三橋 利晴 先生（岡山大学病院 新医療研究開発センター）
  
- ② 私を熱くした研究ストーリー 7日（金）19：00頃  
萬田 陽介 先生（岡山大学 咬合・有床義歯補綴学分野）  
鈴木 善貴 先生（徳島大学 顎機能咬合再建学分野）  
片桐 綾乃 先生（大阪大学 口腔生理学教室）
  
- ③ 研究ショートトピックス 使ってよかった！研究サポートツール4選 8日（土）15：30～  
後藤 崇晴 先生（徳島大学 口腔顎顔面補綴学分野）  
伊藤 佳彦 先生（東北大学 加齢歯科学分野）  
兒玉 匠平 先生（新潟大学 包括歯科補綴学分野）  
杉本 皓 先生（岡山大学 咬合・有床義歯補綴学分野）

## 特別シンポジウム 8日（土）13：00～

### 社会実装への道

- 1) 筋電計の上市から保険採用への道 ーウェアラブル筋電計ー  
山口 泰彦 先生（北海道大学 冠橋義歯補綴学教室）
- 2) クラウドファンディングへの道 ーマウスピース型人工喉頭ー  
戸原 玄 先生（東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

# ワークショップ

## ① 唾液分泌量の変化は咀嚼嚥下をいかに変調するか

講師：真柄 仁 先生（新潟大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

概要：唾液は咀嚼嚥下過程における食塊形成，移送に必要不可欠である。顎口腔領域の筋電図記録や嚥下内視鏡検査を用いて，咀嚼嚥下運動の生体記録の基本を学ぶとともに，唾液分泌量の変化がもたらす咀嚼嚥下運動の変調を検証する。

〈Web 開催の場合〉

Web 開催時の場合は，咀嚼と嚥下の記録は iPhone の動画撮影にて（筋電図記録や嚥下内視鏡は使えません！），唾液分泌量のコントロールは食品を用い，サクソテストで測定し，あくまでも唾液分泌量の変化がもたらす咀嚼嚥下運動の変調の検証を試みたいと思います！

## ② AI を用いた舌圧波形分析

講師：堀 一浩 先生，大川 純平 先生（新潟大学 包括歯科補綴学分野）

概要：種々の試料を摂取したときの舌運動について，舌圧センサを用いて計測する。また，得られた舌圧波形を解析するとともに，人工知能（AI）の領域の1つである機械学習を用いて評価する。

〈Web 開催の場合〉

現地での測定が困難になった場合，準備した舌圧測定データを用いて解析を行う。舌圧センサを用いた測定の実際については，オンラインで配信する。従来の手法により舌圧波形の解析を行うとともに，人工知能（AI）の領域の1つである機械学習を用いて評価する。

## ③ 部位特異性の顎口腔領域の音を視る

講師：鈴木 善貴 先生（徳島大学 顎機能咬合再建学分野）

後藤 祐美 先生（徳島大学 創成科学研究科）

概要：顎口腔領域の様々な活動では咀嚼音や嚥下音などをはじめとして様々な音声を伴っていることが多い。それらの音声が部位特異的にどのような音響特徴を有しているのか，他の活動と識別することは可能であるのか探索的に調査していきたい。

〈Web 開催の場合〉

Web 開催となった場合は，サンプル音声データの解析を行うと共に参加者自身でスマートフォンを用いた音声測定と解析を実体験して頂く予定である。

#### ④ supertaster と medium taster が捉える食品イメージはどう異なるのか？

講師：服部 佳功 先生，田中 恭恵 先生（東北大学 加齢歯科学分野）

概要：ヒトは PROP の呈する苦味の感受性に基ついて supertaster、medium taster、nontaster に分類され、4 人に 1 人はきわだって鋭敏な supertaster なのだそうです。では味覚感受性の違いはヒトが捉える食品イメージにどのように影響するのでしょうか。本セミナーでは、茸状乳頭密度を用いて supertaster を同定し、口腔内の触覚閾値（微結晶セルロースの認知閾値）や咀嚼時の官能検査（TDS）を組み合わせ、この問題を探る研究計画を立案、実施します。事前にオンラインミーティングを行い、受講者に簡単な課題を課す予定です。

〈Web 開催の場合〉

オンライン開催の場合は、触覚閾値の検査は省略します。